

見守る保育の三省

○子どもの存在を丸ごと信じただろうか。

(子ども自ら育とうとする力を持っていることを信じ、子どもといえども立派な人格を持った存在として受け入れることによって、見守ることができるのである)

○子どもに真心を持って、接しただろうか。

(子どもを見守るということは、人格が伝わっていくということを理解し、偽りのない心で、子どもを主体として接することである)

○子どもを見守ることが出来ただろうか。

(子どもを信じ、真心を持つことで、初めて子どもを見守れるのである)